

子どもたちのために、
私たちにできること

家庭で・地域で取り組もう！
子どもたちのための
県民運動

心からだいいきいき キャンペーン



じっくり
本を読もう



読書は心を育てます

キャンペーンの
6つの柱

外で元気に遊ぼう



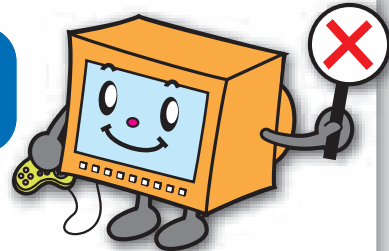
太陽の下で体を動かして遊ぼう
実体験が生きる力になります

服装を整えよう



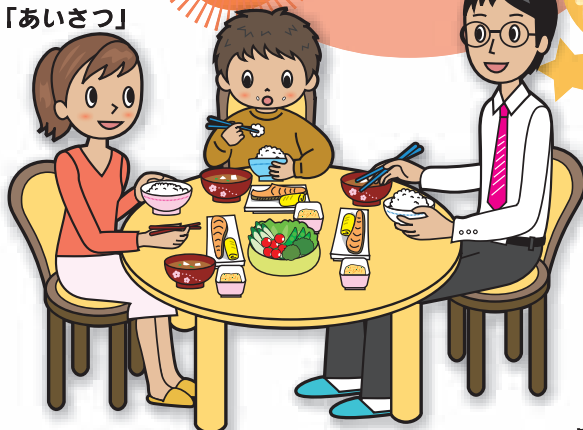
身だしなみとさわやかな「あいさつ」
充実した一日のはじまり

長時間テレビを
見るのはやめよう



テレビやゲームは時間を決めて
ノーテレビデーを設けて読書・団らん

しっかり
朝食を食べよう



朝食は、一日の集中力・持続力を生みます

たっぷり寝よう



早寝・十分な睡眠は、翌日の目覚め・意欲・集中力の源

○ キャンペーン推進会議（基本的生活習慣の定着に取り組む団体で構成、随時加入可）

県PTA協議会、県高等学校PTA連合会、県私立中学高等学校PTA連合会、各学校単位のPTA、おやじの会、青少年育成鳥取県民会議、県公民館連合会、県連合婦人会、県子ども会育成連絡協議会、県子ども家庭育み協会、日本ボーイスカウト鳥取連盟、県スポーツ少年団、県食生活改善推進員連絡協議会、県小学校長会、県中学校長会、県高等学校長協会、県私立中学高等学校校長会、県国公立幼稚園園長会、県私立幼稚園協会、県小学校体育研究会、県中学校教育研究会道德部会、県学校図書館協議会、県学校栄養士協議会、市町村教育委員会研究協議会、鳥取・倉吉・米子・境港商工会議所、県商工会女性部連合会、日本青年会議所鳥取ブロック協議会、NPO法人未来、JR西日本鳥取鉄道部、銀行、報道機関、市町村教育委員会、学校、その他各種団体

大切です!

生活リズムや社会のルール・マナー

～「心とからだいきいき（食・読・遊・寝）キャンペーン」の意義～

現

状

- 近年、子どもたちの実体験不足や基本的な生活習慣の未定着、活字離れ等が指摘されています。
- 県内の児童生徒について、基礎学力調査・特別体力テストを実施した結果、生活習慣と学力・体力との間には強い相関関係のあることが明らかになってきました。（グラフ参照）
- 本来家庭や地域が果たすべき機能が、学校任せになる傾向にあります。

県

- ・心とからだいきいきキャンペーン
- ・高校生 マナーアップ さわやか運動
- ・家庭教育推進協力企業制度 など

家庭・地域の大人が
『子どもたちと
しっかり向き合う』
ことが大切

市町村、PTA、NPOなど各種団体

- ・ノーテレビデー
- ・あいさつ運動 など

効果

家庭・地域・学校が、
それぞれの役割を果たす

家庭（保護者）

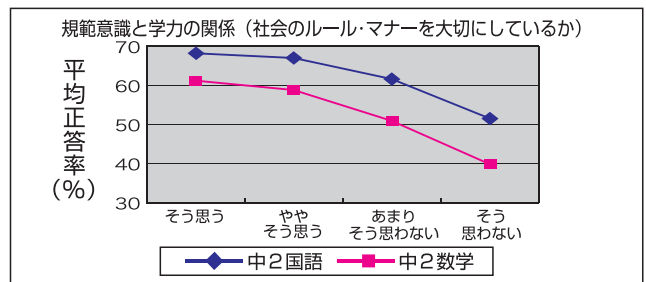
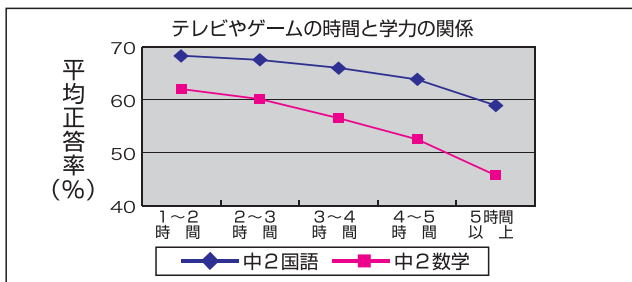
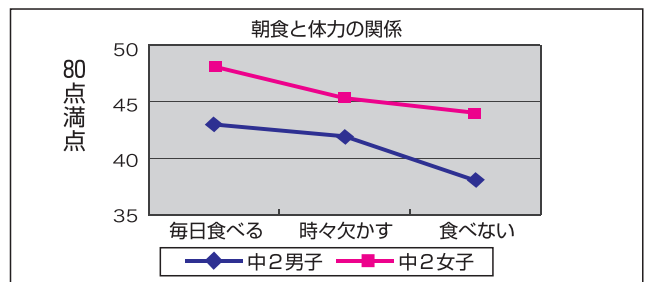
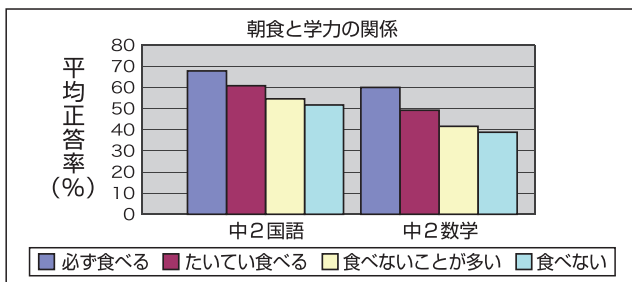
- ① 家庭の果たす役割を再認識する機会となります。
- ② 子どもの生活習慣・生活リズムが定着して、子どもの本来持っている力が高まります。
- ③ 思いやりの心やルール・マナーを守る気持ちなど、豊かな心を育みます。
- ④ 親子のふれあいが多くなり、家族の絆が強まります。

地域

- ① 地域の大人が地域の果たす役割を再認識します。
- ② 子どもたちが、自分たちの地域に愛着を持ち、地域を知ることにつながります。

学校（教員）

- ① 保護者と学校（教員）の連携や信頼関係が高まります。
- ② 子どもたちがいきいきと学び、育ちます。
- ③ 家庭でしつけや基本的な生活習慣の定着がなされれば、教員は学習指導等に専念できます。



※ 平成18年度基礎学力調査より（「朝食と体力の関係」は平成15年度特別体力テストより）

問合せ先：鳥取県教育委員会事務局 教育総務課教育企画室（電話 0857-26-7506、7926）

キャンペーンのホームページには、生活習慣と学力等に関する様々なデータ、生活習慣を定着させるための家庭や地域での取組などを掲載しています。<http://www.pref.tottori.jp/kyouiku/ikiikikyanpen/index.htm>